

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

作成：R6.2.21

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徵	H18年12月開設。同センター内にサテライト特養、ショートステイ、訪問介護ステーション併設。こぶし園初の小規模として地域啓発等を行っています。住み慣れた地域でその人らしい生活が維持できるように柔軟なサービスを提供し、暮らしを支えていけるように取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護美沢	管理者	木村伸彦		

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	1人	地域住民・ 地域団体	3人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	2人	事業所職員	14人	その他	5人	合計	29人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・ 結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価に関する勉強会を評価前に実施し理解を深める。 ・改善計画に対し各項目の役割分担を行い、「出来ていない点」「あまり出来ていない点」に重点を置き、改善計画を実施していく。 ・ミーティング時に改善計画の進捗状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでサービス評価に携わったことのない職員には事前の説明にて理解を求めたが、全職員を対象とした勉強会を開催するまでには至らなかった。 ・各項目の役割分担が明確ではなかったため、「出来ていない点」「あまり出来ていない点」に重点を置くことができず、結果、中途半端な実施に終わった。 ・ミーティング時に改善計画に対する進捗状況を確認できた項目もあるが不十分な項目もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に関する情報を全職員で共有できる様、記録の工夫に努めていると感じた。 ・「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？の項目について、あまりできていないと答えた人数が多いことが気になった。ご利用者、ご家族への関わり、職員間の情報共有が今以上にできるように改善に努めてもらいたい。 ・「暮らしの情報シート」の記入、活用方法等について教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしの情報シート」をこれまで以上に有効活用できる様に書式の見直しを行う。その方の望まれている事や嗜好に寄せた個別ケアを実施する。各担当者が個別な関わりがもてるようにケアマネの協力を得ながら計画、実行する。(例えば、普段行けない場所へ買い物に行く、折り紙などの作品を作る、馴染みのある場所や気分転換を図る為の外出や散歩等々)
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、感染症対策を徹底して行う。 ・玄関前の季節の飾りつけや花壇の手入れ等ご利用者と一緒に行い、その様子をご家族や地域の方にも伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様に年間通して消毒・換気・アクリル板の設置等感染症予防策を行い徹底できた。 ・玄関前の飾りつけや野菜の収穫等ご利用者と一緒に行い、広報誌を通してご家族や地域の方にも知っていただくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前の飾りつけは季節感があらずばらしい。 ・玄関の鍵は掛かっていないのか。 ・コロナ前は事業所内にて会議を開催していたが、現在は別会場で行っている為、様子や雰囲気などがわからないことはできない。だが、コロナで自由に行き来できない為、入りにくい雰囲気であつても致し方ない。一方で、防犯面においては入りやすさだけを求めるのではなく、やりにくい方がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前の季節の飾りつけや花壇の手入れ等ご利用者と一緒に行い、その様子をご家族や地域の方にも伝えていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・広報誌の内容を工夫し、更に事業所をアピールしていく。 ・地域の課題、ニーズを聞き取り、「まちなね」の内容に反映させて行く。</p>	<p>・定期的に広報誌を発行し、季節感を出すように心掛け、センターの様子・紹介等を掲載できた。 ・「まちなね」においては感染症対策を講じながら、アンケートを活用して地域の方々の関心のあつた内容を企画し、実施できた。</p>	<p>・広報誌により地域の方々へ事業所の様子を知らせて頂く事は良い。 ・職員が地域の行事(防災訓練やクリーン作戦)に参加していることは素晴らしい。より多くの職員が参加できるとなお良い。 ・広報誌の配置先や回覧範囲はどの辺りまでなのか？また、「まちなね」の活動内容を教えてほしい。</p>	<p>・「まちなね」に参加された方々より取り上げてほしいテーマ・内容のアンケートを実施し、意向に合わせたテーマ・内容も積極的に企画することで、少しでも多くの方々に興味をもって参加して頂けるようにする。</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・エコマップを作成して、ご利用者に必要な地域資源を知り、活用していく。 ・個別ケアとして、地域を散歩したり、ドライブを行いご利用者と共に楽しむ。</p>	<p>・エコマップの作成までには至らなかった。 ・送迎時や時間を作り、個別ケアとしてお花見や興味のあるスポットに出向き楽しんで頂いた。</p>	<p>・個別ケアで外出の機会を増やす事はとても良い。 ・地域の方々や短時間でも会話ができており、有効な情報も得られ素晴らしい。 ・ゴミ拾いは実施できたのか？ ・個別ケアの具体的な内容を教えてほしい。</p>	<p>・地域資源について学習会を実施し、ご利用者がその地域で何処とどのようにつながっているのかを分かり易く確認出来るようなエコマップを各担当者がケアマネと共同で作成する。そして、適切な地域資源を継続して活用できるように支援していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・可能な限り、多くの職員が運営推進会議に出席できる様に計画を組む。 ・運営推進会議の内容を職員に周知して、委員や他法人の意見を活かしていく。 ・地域の困りごと等の事例検討を実施する。</p>	<p>・感染症対策を十分に講じながら、予定通り運営推進会議を開催してきたが、職員の参加は限られた者だけの参加となった。 ・主に書面上だが、相互に有意義な意見交換ができた。 ・地域における困りごと等の事例は挙がってこなかった。</p>	<p>・今現在は、個人情報観点から地域(町内)で困りごとなどの対応は行っておらず、民生委員と個別で行っている。 ・以前はサポートセンター美沢へ高齢者宅への訪問について等相談した事もあったが、最近では主に包括の方で対応されている。</p>	<p>・運営推進会議出席者を固定せず、より多くの職員が出席することで、会議の目的や内容を共有し、事業所としての理解を深めていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・地域の防災活動に参加する。事業所の防災活動にも地域の方々に参加して頂く。 ・事業所の特性にあった防災訓練を計画して、実施して行く。</p>	<p>・事業所の特性にあった水害訓練を実施した。 ・地域の防災訓練に職員が参加し防災意識が相互に高まった。 ・地域の方がセンターの防災訓練に参加して頂く事はできなかった。</p>	<p>・有事の際に我々だけでは対応できない為、地域住民の方々の助けも必要となる。具体的な協力体制を考え、備えておく必要がある。 ・水害訓練はどのようなに行っているのか教えてほしい。 ・地域(町内)において、要支援者を対象に災害時の避難行動訓練を行っている。 ・防災計画は委員が代わる度に配布する必要がある。</p>	<p>・地域の防災活動に積極的に参加する。また、事業所の防災活動にも地域の方々に参加して頂けるように働きかけていく。</p>